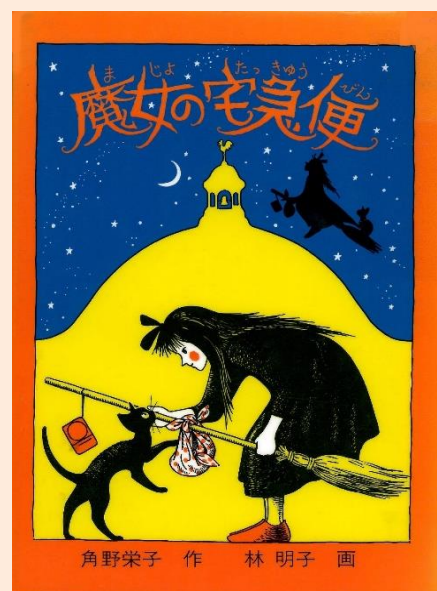


『魔女の宅急便』 福音館書店 角野 栄子／作 林 明子／画

魔女のおきてでは、13歳になると両親や友達と別れ、家を出て独り立ちする。魔女のキキは黒猫のジジと一緒に住む所を探し、海辺の時計台がある大きな町を見つけ、パン屋のオソノさんの家の居候となる。そこで「魔女の宅急便」という名で、荷物を届ける仕事を始める。ほうきに乘って空を飛び、どこよりも早く、どんなものでも届けに行くのだが……。



仕事の依頼はどれも個性的なものばかり。失敗したり、悩んだりしながら、仕事や周りの人たちとの関わりを通して成長するキキ。シリーズ化され、特別編も刊行。